

ヨーロッパ・パーク・シュタディオンが フライブルクでキックオフ

ドイツのサッカー・ブンデスリーガの名門SCフライブルクの新たな本拠地、「ヨーロッパ・パーク・シュタディオン」が開業を迎えました。アクセスは、スマートな管理ソフトウェアと入退場管理システムでこの新しいスタジアムの運営の一部を支援しています。

2021/22シーズンの第8節の初戦、SCフライブルクの新しい本拠地「ヨーロッパ・パーク・シュタディオン（34,700人収容）」にファンによるクラブチャント「12番目の男」が鳴り響きました。それまでのドライザム・シュタディオン（24,000人収容）から移転した新スタジアムには、SCフライブルクのニーズに合わせたアクセスのソリューションが導入され、入退場管理システムが一新されました。

プライベートなクラウドソリューション

従来のパートナーおよびチケットプロバイダー「レゼルヴィックス」が販売を行うフライブルグ戦のチケット情報は、双方向インターフェースによりシームレスにアクセスの入退場管理システムに送信されます。これにより、SCフライブルクおよび対戦相手のファンが入口のアクセススマートゲートを通して、スムーズに新しいスタジアムに入場できます。

また、安全かつスムーズなデータ交換を実現するため、アクセスの最新システムであるプライベートクラウドが導入されました。ローカルサーバーを持たずにサーバーをアウトソースするアクセスの「データセンターサービス」なら、スタジアム側でのサーバー管理は不要です。また、場内のインターネット接続が切断されても、オフライン機能により入口での検札に支障はなく、接続が復旧すると同時にシステムも更新される仕組みです。

非接触体験

入場の際にはスマートフォンがチケットになります。Apple VASとGoogleスマートティップに対応しており、NFCウォレットに保存したQRコードやバーコードのチケットをゲートにかざし、非接触で入場できます。アクセスの新しいシステムについて、SCフライブルクのチケット責任者、ダニエル・ドイパー氏に詳細を伺いました（以下、敬称略）。



ヨーロッパ・パーク・
シュタディオン

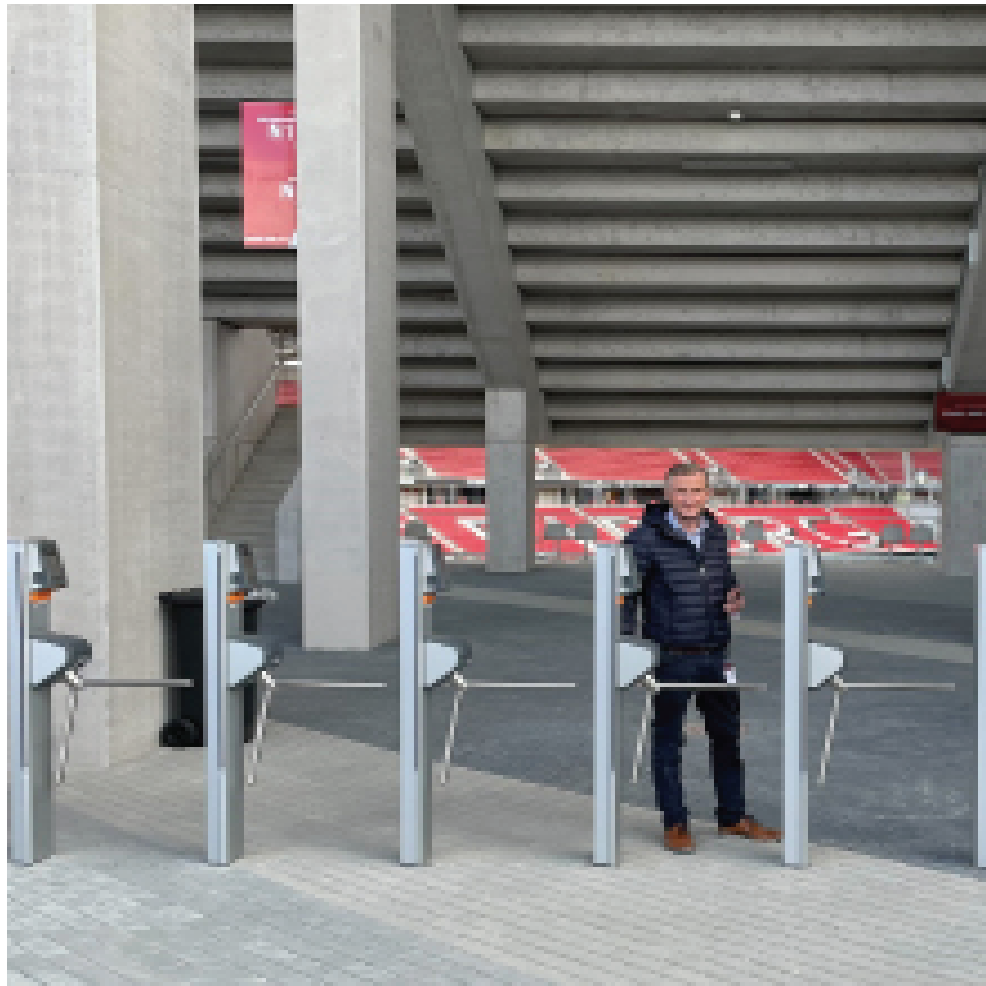
ドイツ

アクセス: アクセスをお選びいただいた理由をお聞かせください。

ドイパー: アクセスは、ソリューションのコンセプトが包括的かつロジカルだったことが最も大きな要因です。特に、ここ数年技術



AX500スマートゲート次世代ターンスタイル



的に進歩を遂げており、高度にデジタル化されていること、そして、ユーザーにとって使いやすいことが決め手となりました。

アクセス: プロジェクトの遂行状況について、はご満足いただけたでしょうか。

ドイパー: とても満足しています。私にとっては、これはケルンのライン・エネルギー・スタジアムに次いで、アクセスとともに二つ目の大規模プロジェクトでした。2回と

も、協業の質と雰囲気のスバラしさを強く感じました。アクセスは、プロジェクトの各段階で厳しい納期に対応し、プロジェクト全体を支援する適切なソリューションを見つけ出す資質を有していると思います。

アクセス: アクセスのソリューションやサービスは周りの方にもおすすめしていただけそうでしょうか。

ドイパー: はい、もちろんです。

- ➔ **アクセス
データセンターサービス**
- ➔ **AX500スマートゲート次世代
ターンスタイル**
- ➔ **アクセス
スマートスキャナー600NFC**
- ➔ **アクセス
スマートポスト600**
- ➔ **アクセス
ハンドヘルド**



アクセススマートポスト600



アクセスハンドヘルド



アクセススマートスキャナー600NFC